

事業所における自己評価結果 【放課後等デイサービス】

事業所名		児童発達支援センター にじのはし			公表日		令和7年4月1日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない(不明)	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点		
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	70%	0%	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・3グループに分かれて活動を行っているため、お子さまたちも落ち着いて活動することができている。 ・1グループの人数が多いことがある。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	0%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・指定基準は満たしているが、個別対応場面が多くなることで不足していると感じることがある。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60%	0%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールや手順書を活用し構造化しているが、掲示物など刺激が多すぎることがあるので、よりシンプルな環境が望ましいと感じる。 ・居室の鍵が自由に開けられる構造になっている。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	90%	0%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてパーテーションで区切るなどして工夫を行っている。 ・こまめな消毒を心掛けていきたい。 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	90%	0%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・居室の空きによって個室空間を確保できる場合がある。 		

業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	60%	30%	10%	・PDCAサイクルの意識をあげていく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	0%	・年に1度、評価の実施を行っておりHPでの公表をしている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	70%	0%	30%	・各職員の意見交換（LINEワークスや会議）があり、それぞれ尊重されていると思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70%	20%	10%	・今後取り組みの必要性を感じる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	0%	・新入職員研修やフォローアップ研修の実施を行っている。 ・職員会議でのミニ研修を継続的に行っている。 ・研修の案内は随時行っている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	0%	・HPで公表している。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	90%	10%	0%	・アセスメントを適切に行った上で計画作成を行っている。懇談で目標設定や課題等を共有し反映させている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	60%	30%	10%	・1人1人に担当が決まっており、計画作成にかかわっている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	70%	10%	10%	・五領域を念頭に置いて支援を行っており、特に友達関係やコミュニケーション面での支援ニーズが広がっている。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	10%	10%	・標準化されたツールを用いることは少ないが、関わりや行動観察の中で日々アセスメントを行っている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	70%	30%	0%	・本人の抱える課題や保護者のこどもに対する願いなど共通理解をもって支援内容が設定されている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	60%	40%	0%	・情報を共有することでチームでプログラム作成をすることができていると思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	0%	・日々、工夫をこらして活動を設定できるようにしている（地域の体育館の活用・ドライブや公共施設の利用など）
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	80%	10%	10%	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	70%	20%	10%	・事前の打ち合わせ時間は限られているが、子どもたちと活動を考えることがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	30%	10%	60%	・必ず時間を設けて振り返りを行う時間は限られているが、行動記録やLINEワークスで共有できるシステムがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	0%	・連絡ノートや日々の行動記録を通じて検証・改善に繋がられるよう努力している。

適切な支援の提供	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	80%	10%	10%	・6ヶ月に1回の評価を行っているが、短いスパンでの評価が必要なお子様もいると感じる。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	70%	20%	10%	・報酬改定により計画作成時から支援に至るまで理解するのに時間がかかった。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	80%	10%	10%	・言葉でのコミュニケーションが難しいお子様へ、絵カードで提示したり選択していただいたりできるような工夫を行っている。 ・活動内容を子ども同士で話し合い決める機会を設けている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	70%	20%	10%	・各グループ担当や機能訓練担当職員が参画できるとよりよいと思う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	30%	10%	・学校から出ている宿題のレベルが合っておらず、苦労している様子が見受けられるため、実態に合わせた共有ができるとよい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80%	10%	10%	・各学校とのやりとりは主に送迎時に行われる。時間割や行事予定などをメールで送って下さる学校があり大変助かっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	10%	10%	・就学前に引継ぎは密に行っており、就学後のフォローも必要に応じて行っている（にじのはしの見学も随時対応している）
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	60%	30%	10%	・現在の所、そういったケースはまだないが、必要に応じて引継ぎや情報提供を行う。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	40%	50%	10%	・地域の中核的な役割については不足しているように思えるので、自立支援協議会などの参画等を考えていく。	

関係機関や保護者との連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0%	30%	70%	・地域の子どもと活動する機会は少ないため、今後の課題として要検討事項。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	30%	50%	20%	・自立支援協議会への参画については現在協議中。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	0%	・送迎や連絡ノートで日々の伝達を行っている。定期的な個人懇談をっ開催し共通理解を行えるよう努めている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20%	30%	50%	・ペアレントトレーニングについての理解を深め、適切な助言や研修の開催ができるように努めていく必要がある。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	80%	20%	0%	・施設見学時や契約時に丁寧な説明を行えるよう心掛けている。長期利用者に向けての再説明の必要性は検討していく必要がある。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	90%	10%	0%	・懇談や日々の子どもの姿から作成するよう心掛けている。高学年のお子様に関しては、自身の希望や目標も面談することがある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	0%	・懇談時に計画や評価の説明を行い、同意をいただいている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	0%	・送迎等で相談を受けた際は、スタッフで共有し必要な助言や支援を行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	90%	10%	0%	・年に2回茶話会を行っている。夏まつりやクリスマス会で、きょうだい児の参加できるイベントはあるが、交流までは至っていない。

保護者への説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	90%	10%	0%	・苦情があった場合は管理職へ速やかな報告を行い、状況確認等を行った上で対応している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	0%	・月に3～4回ブログで日々の療育活動を写真や文章で発信している。 ・おたよりは毎月紙面で配布している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	0%	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	0%	・実態に合わせて、情報が確実に伝達されるよう工夫している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	20%	40%	・夏まつりを行う際には地域住民へ声かけを行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	0%	・各種マニュアルは完備されているが、周知の点においては不足している。有事の際を想定した避難訓練は毎月行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	90%	0%	10%	・BCP（感染症・自然災害）を策定している。 ・訓練については学期休業日に行うことが多い（学校で行っていることが多い）
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	80%	10%	10%	・個人調査票を各自確認している。 ・服薬に関しては、医師から処方された薬を原則とし、投薬依頼書をもとに服用等を行っている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	0%	・医師からの指示書をもとに、除去食や代替食を用意していると共に、アレルギーチェック表の掲示等を行い、間違ふことのないよう対応している。

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	60%	40%	0%	・安全計画の作成が不十分であるため、今後、検討していく必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	60%	40%	0%	・安全計画の作成・周知が不十分であるため、今後、検討していく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	90%	0%	10%	・職員会議にて再発防止対策の検討を行っているが、全てのヒヤリハットではないため、今後、すべてのヒヤリハットを共有し意見交換ができるとうい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	90%	10%	0%	・職員会議にて虐待防止委員会からの研修報告やミニ研修等を行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	該当なし			・身体拘束が必要な場面はありません